

青少年 12 いわて 2018

トピックス

- いわて希望塾
- わたしの主張岩手県大会
- いわて親子フェスティバル in アイーナ
- 「いわて家庭の日」絵画・ポスターコンクール
- 社会生活に困難を有する子ども・若者支援セミナー
- みたけがはらまつり

沿岸地域で「いわて希望塾」を開催しました！



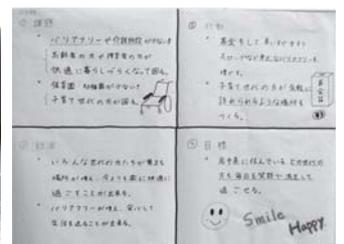
11月23日(金)から25日(日)の2泊3日、陸中海岸青少年の家(山田町)で「いわて希望塾」を開催、県内各地から129名の中学生、21名の青年サポーターが集まり、震災からの「復興」が進む沿岸地域において、直接被災状況や復興の様子を見聞し「復興」についての学びを行い、市町村の枠を越えた交流活動等を行いました。

「復興」について事前に参加者それぞれが10人分の「地域の声」を集めるなど、調べたことを持ち寄ってグループワークを行い、最終日には岩手の「復興」や地域づくりについて「未来への宣言・メッセージ」として発表しました。

初めのうちは不安と心配でいっぱいだった参加塾生も、班活動やグループワーク等の活動をするなかですぐに打ち解け、みんな交流を深めていました。

復興についての理解や色々な考え方・視点を、このいわて希望塾で学んだことは参加者すべて大切な思い出となり、良い経験となったのではないのでしょうか。

3日間で学んだことを学校、地域に伝え、積極的に岩手の復興や地域づくりを担うよう期待しています。



毎月第3日曜日は **いわて家庭の日**

岩手県青少年育成県民会議では、青少年を守り育てる運動として「**いわて家庭の日**」を全県しています。

推進協力：岩手県・岩手県教育委員会・岩手県警察本部

平成 30 年度「いわて希望塾」実施概要

☆目的
震災からの「復興」が進む沿岸地域において、体験的活動や市町村の枠を越えた交流活動、「復興」についての学びを行うことにより、震災を風化させることなく、積極的に岩手の「復興」や地域づくりを担おうとする、心豊かで意欲に満ちた人材を育成することを目的とする。

☆期 日
平成 30 年 11 月 23 日 (金) ~ 25 日 (日) 2泊3日
☆会 場
(1) 岩手県沿岸地域 (宮古市、山田町、大槌町、釜石市)
(2) 岩手県立陸中海岸青少年の家
☆参加者
(1) 塾 生 県内各地中学生 129 名
(2) 支援者 青年サポーター 21 名 (地域で活躍する青年)



1 目 11月23日(金)

- 12:30 コース別学習1 ※復興学習・見学等
 - ・宮古コース 学ぶ防災 宮古市(田老地区)
 - ・山田コース 震災語り部ガイド 山田町(新生やまだ商店街周辺)
 - ・大槌コース 語り部ガイド 大槌町(資料館・旧役場)
 - ・釜石コース 語り部ガイド 釜石市(鶴住居地区)
- 14:00 コース別学習2 ※職場に伺い対話
 - ・宮古 / NPO法人みやっこベース
 - ・山田 / 漁師
 - ・大槌 / 漁師、一般社団法人Tsubomi
- 15:30 開 会
オリエンテーション
施設利用・生活等について
アイスブレキング (全体・各班)
- 19:00 コース別学習ふりかえり・発表
- 22:30 消灯・就寝



4つのコース別に「復興」についての学びを他の塾生と共有

一人ひとりが抱く地域への想いを集めて、みんなでオモイをカタチに・・・

2 目 11月24日(土)

- 7:15 朝のつどい
- 8:30 グループディスカッション②
- 13:30 塾長メッセージ (知事講話)
塾長：岩手県知事 達増 拓也
塾長 (知事) との対話
- 14:50 写真撮影
- 15:00 ふじポンミニトークショー
- 16:00 グループディスカッション③
- 19:00 サロン「未来へのヒント部屋」/作業グループタイム
- 22:30 消灯・就寝

調べてきた事前課題 (地域の人の希望する岩手の姿) を持ち寄り自分達の考えを話し合う



「復興」そして「その先にあるこれからの岩手」
塾長：岩手県知事 達増 拓也

- 1 東日本大震災津波からの復興の状況
- 2 ふるさと復興
- 3 未来に向けて「岩手県次期総合計画」
- 4 岩手の青少年に期待すること

3 目 11月25日(日)

- 7:15 朝のつどい
- 9:00 未来への宣言 (全体発表) ・まとめ
自分たちが望む将来の姿をまとめ、「未来への提言」として提案
- 11:00 ふりかえり
- 12:30 閉会・解散



誰よりも岩手にこだわり、地元岩手をこよなく愛する岩手のタレントふじポン☆ラジオ・テレビなどで活躍中!! 復興支援活動も積極的にを行っています。



わたしの主張岩手県大会

平成30年9月14日(金) / 田園ホール(矢巾町)

「第20回わたしの主張岩手県大会」が9月14日(金)に矢巾町の田園ホールで開催されました。

今年度は、各地区大会から選出された代表者18名が未来に向けての夢や希望、日常生活の中で感じていることや考えたことなど、それぞれの思いを発表しました。

このうち、「挑戦し続ける勇氣」という題目で発表した岩手県立一関第一高等学校附属中学校3年の小野寺千里さんが大会の最優秀賞に選ばれ、優秀賞には2人、優良賞には3人の生徒が選ばれました。

また、アトラクションでは、矢巾町立矢巾中学校吹奏楽部による演奏が披露されました。

なお、本大会の最優秀賞受賞者の小野寺千里さんは、11月11日(日)に東京都で開催された「少年の主張全国大会」に出場、国立青少年教育振興機構奨励賞を受賞しました。



県大会最優秀賞受賞

挑戦し続ける勇氣

岩手県立一関第一高等学校附属中学校 3年
小野寺 千里(おのでら ちさと)

「えっ、何これ。ひどい。」いくつかの言葉をスマホに入力すると、私に関する書き込みがあふれ、中傷の嵐が私に襲いかかりました。

去年、私の街にのど自慢が来ました。ずっと出るのが夢だったその舞台で私は赤い浴衣を着て、美空ひばりのお祭りマンボを熱唱しました。客席からの声援、手拍子、合いの手。このときの夢のような時間が、ネットによる心無い誹謗中傷に晒されるなんて想像もしていませんでした。その時、会場を笑顔にしたい、という私の思いは、テレビの向こうには伝わっていなかったのだと感じました。

この2週間後、私は童謡コンクールの全国大会で再びテレビに出演しました。1位だったのは片足の90歳のおじいさんでした。おじいさんは結果発表の前、舞台裏で「歌が大好きだ。歌い続けてきて良かった。」と何度も言って号泣しました。おじいさんは辛いことも歌で救われてきたのだろうと感じました。そこにいた多くの人が涙を流しました。出場者はこの舞台に立てたこと、出会うはずのない自分達がこうして出会えたことを喜び合いました。おじいさんの心からの歌声は会場の観客をも涙させました。しかし、この感動や私達の心が一つになったこともテレビには映されず、ネットには「なんでこのおじいさんが」という書き込みもありました。

のど自慢、童謡コンクール。この二つの経験からとても大切なことを学びました。それは、その時自分自身が感じたこと、目の前の笑顔や涙など、自分の目で見たことこそが重要だということです。世の中には勝手にランク付けをしたり、あら探しをして楽しむ風潮があります。ネットの世界はなおさらです。

入賞者一覧

おのでら ちさと
最優秀賞 小野寺 千里(県立一関第一高等学校附属中)

なかむら おと
優秀賞 中村 音(盛岡市立見前南中)

なかとくさり かりん
// 中戸鎖 花凜(久慈市立長内中)

おおくぼ しおん
優良賞 大久保 星音(遠野市立遠野東中)

はこいし はな
// 箱石 華(宮古市立宮古西中)

みなかわ ゆい
// 皆川 友唯(一関市立興田中)

しかし、そういう今の時代だからこそ、自分の目の前にいる人に思いを伝えるために歌う、という本来の目標を見失わないことが大切だと改めて気付きました。

このように、私にとって、大切なことを教えてくれたのは歌うことでしたが、みなさんにも夢中になっていることがあると思います。そのことへの強い思いを持ち続けて下さい。とは言え、周りを気にしないで自信を持ち続けることは簡単ではありません。私自身もそうでした。のど自慢、童謡コンクール、そのほかの様々な挑戦、何かに挑むたびに、友達から「よくやるよね。私にはまねできない。」と言われます。私だって、最初から心が強かった訳ではありません。他の人と違うことをすれば何かしらバッシングを受けるものです。以前の私は、そのたびに落ち込んだり、周りを恨んだりしてきました。でも、そうやって自分を萎縮させることに、どれだけの意味があるでしょう。

チャンスは自分からは来てくれません。弱い心や不安に打ち勝って、自分で掴みに行き、手に入れることができるのです。

今年の夏、私は、のど自慢で出会った人達と、老人ホームを慰問し、歌のプレゼントをしました。50名を超えるお年寄りが、満面の笑顔で、手拍子をしたり、一緒に口ずさんだりしてくれました。その時のみなさんの笑顔が忘れられません。結果ではなく、それまでの過程や目の前の笑顔を大切にできる人間になりたい。そんな自分になるために、たくさんの笑顔に支えられながら、私の挑戦はまだまだ続きます。挑戦している今、この瞬間の積み重ねこそが自分を成長させると信じて。

第5回

いわて親子

2018

フェスティバル in アイーナ

10月8日

10:00
~
16:00
月・祝日

4F



毎年恒例の不思議な迷路

4F&7F 段ボール迷路2018



専門学校生による歌とバンドのミニライブ

4F&7F 盛岡医療福祉専門学校音楽サークル

もいっく

6F

珍しいボードゲームを体験

6F ボードゲーム



工作芸人できたくんによる紙コップ工作ショー

4F&7F できたくんと工作しよ~!



4F&7F マンドリン等による弦楽奏

県大マンドリンアンサンブル
COLORE



カップ寿司の料理教室やチョコバナナの手作り体験

6F かわいい彩りカップ寿司をつくろう
お祭りの定番!チョコバナナ



4~7F 開運橋の妖精
開運たまえちゃん



みんなで未来の盛岡を描く

6F 未来のモリオカ

5F

フェイスペイントやダンス等の国際交流

5F キッズカーニバル



開運橋の妖精

開運かなえちゃん
4~7F



バグやランタンなどの手作り体験

6F つくろうコーナー



スライムラリーや紙

遊びり



いわて親子フェスティバル 実施概要

☆目的
 家族や親子で楽しめるイベントを行うことにより、青少年の健やかな成長の基盤である「家庭」における対話やふれあいを深める機会とするとともに、家族で共有する時間の提供、世代間の交流、ボランティアの育成、参加団体の相互の交流を図ることを目的とする。

☆期 日
 平成 30 年 10 月 8 日 (月)
 ☆会 場
 アイーナ (4F ~ 8F)
 ☆参加者
 一般県民 (特に幼児小学生の親子) 5,682 名
 ボランティア 96 名 (実行委員 39 名、当日ボランティア 57 名)
 協力者・出演者 78 名

10月8日(月)、「第5回いわて親子フェスティバル in アイーナ」が開催されました。今年は、毎年人気の「ミニSL」や「段ボール迷路」、「わくわくさんの工作ショー」に加えて、「チョコバナナ」を作って食べたり、「バルーンアート」のコーナー、「できたくんと工作しよ〜!」など、初めての企画も増え、館内はいくつものコーナーを回る親子連れで賑わいました。また、同じく初出展の「出張いわて子どもの森」は、子ども達がカプラという積み木を背よりも高く積み上げようとしたり、ボイスチェンジャーを作ったり、人気のコーナーとなりました。今年の来場者数は、延べ 5,682 人に上り、スタッフも目が回るような忙しさに追われていました。5月から企画や準備に取り組んだ 39 人のボランティアも、当日のお手伝いをしてくれた 57 人のボランティアも、たくさんの子どもの笑顔に満足した一日となりました。

7F

色んな楽器の演奏体験
楽器にふれてみよう!

電気でおくるミニSLの乗車体験
7F ミニ機関車

ラグビーのキック体験
7F ラグビーにチャレンジ!

毎年人気のスタンプラリー
4~7F アイーナ探偵 vol.1

7F&8F **総合MC**

バルーンアートの制作体験
できよう!バルーンアート

7F&8F **親子であそぼうコーナー**
 缶釣りやダーツ、ボウリング等、親子で遊べるゲームを開催

テレビの人気キャラクター登場
4F&7F コイティ

いわてのマスコット
わんこきょうだい 4~7F

高校生による創作劇を上演
7F 盛岡市立高校演劇部

毎年大人気の工作教室と工作ショー
くぼたまさと 7F&8F 工作ショー・工作教室

飛行機等の競技大会
6F

高校生によるクラシックギターの演奏
4F&8F 盛岡市立高校クラシックギター部

8F



平成30年度「いわて家庭の日」 絵画・ポスターコンクール

コンクール概要

作品募集 6月1日～9月6日
 優秀作品選考委員会 9月10日
 盛岡展 日程 10月1日～14日
 会場 アイーナ(盛岡市)
 北上展 1日程1月6日～18日
 会場 さくら野百貨店(北上市)
 入賞者表彰式 11月18日
 会場 北上市市民交流プラザ(北上市)

【児童の部最優秀賞】1点



初めて弟と一緒に花火を見たよ
 盛岡市立桜城小学校2年
 いいしい こうしろう
 石井 宏志郎

「平成30年度『いわて家庭の日』絵画・ポスターコンクール」の表彰式が11月18日(日)に北上市の北上市市民交流プラザ展示室にて開催されました。

今年度は、県内の小学校、中学校から「いわて家庭の日」をテーマに145点の応募がありました。

9月10日に優秀作品の選考委員会が開催され、全ての応募作品の中から児童の部と生徒の部併せて12点が優秀作品に選出され、最優秀賞が2点、優秀賞が3点、そして優良賞には7点の作品が選ばれました。

なお、10月1日から14日までは盛岡市のアイーナにて、11月6日から18日までは北上市のさくら野百貨店の連絡通路、通称りぼん橋にて応募作品の展示が行われました。

県内の様々な人に作品を観ていただき、「いわて家庭の日」を広く周知することができました。

【生徒の部最優秀賞】1点



家族みんなで車洗い
 北上市立北上中学校1年
 ふじた わかば
 藤田 若葉

【生徒の部優秀賞】1点



夏のひととき
 北上市立上野中学校1年
 あらい
 新井 ひかり

【児童の部優秀賞】2点



おじいちゃんやおばあちゃんとおもちつき
 軽米町立軽米小学校4年
 ばば ゆう
 馬場 祐

【児童の部優良賞】5点



大切な家族の笑顔
 奥州市立南都田小学校6年
 たかはし ゆう
 高橋 優



家族でキャンプをしたよ
 北上市立江釣子小学校4年
 たかだて ともき
 高館 智希



みんなで草とりをしたよ
 北上市立江釣子小学校4年
 なつい にこ
 夏井 二湖



家族で花火
 洋野町立角浜小学校6年
 みうら みんと
 三浦 明燈



6人でハイチーズ
 北上市立黒沢尻北小学校5年
 こんの めい
 金野 姫依



家族で昼寝
 洋野町立角浜小学校6年
 おおむら かれん
 大村 華恋



私の家族
 遠野市立遠野中学校2年
 ほそかわ ひな
 細川 雛



愛の花を咲かそう
 宮古市立第一中学校3年
 ささき ももか
 佐々木 桃香

社会生活に困難を有する子ども・若者支援セミナー

発達障害を抱える子どもとのすてきな向き合い方～講話と体験～

第1回 平成30年8月25日(土) / 第2回 平成30年9月1日(土) / 第3回 平成30年9月17日(月)
会場 アイーナ(盛岡市)

発達障害の子どもたちの「日常に困った!」に効果的といわれている子育て支援プログラム「ペアレント・レーニング(ペアトレ)」を取り上げ、その考え方とトレーニングのポイントを保育士や学童保育関係者、養護教諭等普段から障害者と関わっている方を対象に1回の講話と2回の体験講習の形式で学びました。

1回目の講話では、「発達障害とペアレントトレーニング」と題して、紫波町にある「みちのく療育園」の診療部長である川村みや子氏より実際の事例を交えた取組実績の紹介等、ペアトレについてわかりやすくお話していただきました。



2回目及び3回目の体験講習では「紫波さぷり」の代表である細川恵子氏及び「みちのく療育園」の樋渡朗子氏をトレーニングリーダーに迎え、ロールプレイ形式のワークショップを行い、ペアトレの考え方や活用方法を6つのセッションに分けて学習しました。参加者は4つのグループに分かれ、グループごとにステージでロールプレイを行いました。

参加者からは「仕事に活かせる知識をたくさん学んだ」、「職場でも共有してみたい」等の感想が寄せられました。

ペアレント・トレーニング(ペアトレ) 各セッション概要

セッション1「行動を3種類に分ける」

<好ましい行動> あいさつや歯磨き、着替え等、好きな行動やこれまでより増やしてほしい行動

<好ましくない行動> 騒ぐ、ぐずる、わめく等、嫌いな行動やこれから減らしてほしい行動

<危険な行動・許しがたい行動> 暴力や暴言、破壊等、人を傷つける行動や今後なくしたい行動

セッション2「肯定的注目を与える(ほめる)」

<肯定的注目の種類> ほめる、励ます、その行動に気づいていることを知らせる、ほほえむ、感謝する、興味や関心を示す、そっと身体にふれる、次の行動に誘う

<ほめ方のコツ> ①25%ルール(25%でほめる)、②視線・身体(子どもと同じ目線で、子どもに近づく、子どもを呼ぶ)、③おだやかな表情、④声の調子(穏やかで明るい声)、⑤言葉(短く、簡潔明瞭、皮肉・批判は避ける)、⑥行動をほめる、⑦効果的にほめる(性格や感じ方、性格にあわせたほめ方)

<スペシャルタイム> 子どもが親と二人きりで遊べる時間

○子どもがどのような遊びをしているか、どういうことを好むかを観察できる

○好きな行動、増やしたい行動を見つけてほめる

セッション3・4「好ましくない行動を減らす」 -上手な無視の仕方- -無視とほめるの組み合わせ-

<好ましくない行動を減らすために無視をする>

○注目を取り去って、好ましい行動が出てくるのを待つこと

○子どもの「存在そのもの」ではなく「行動」を無視

○好ましくない行動を止め、好ましい行動が出たらほめる

○無視を始めたなら、徹底してやりぬく

<無視のコツ> ①タイミング(好ましくない行動が出たらすぐ無視)、②視線・身体(子どもと目を合わせない、身体の向きを変える)、③メッセージ(普通で無関心な表情と態度)、④ほめる準備(少しでも好ましい行動が出たらすかさずほめる)

<無視とほめるの組み合わせ> 「何を無視しているのか」、「何を待っているのか」を明確にすることが大切

セッション5・6「子どもの協力を増やす」 -効果的な指示の出し方-

<効果的な指示の出し方1> ①子どもの注意を引く、②視線を合わせる、③指示は短く、具体的に、
③落ち着いて、口調はきっぱりと、言い切る

<CCQ> Calm:あなた自身が穏やかに、Close:子どもにもう少し近づいて、Quiet:声のトーンを抑えて静かに
○指示を出すときは常にCCQを心がける

<指示を繰り返す> ①子どもが指示に従うまで、少し時間を与える(すぐに指示に従わないなら、視線をそらしてその場を去る)、②子どもが必要とすると思われる回数、指示を繰り返す、③もし、子どもが指示に従った、あるいは従おうとしたら、すぐにほめる、④指示を繰り返しても従わない時は「警告」を与える

<予告する> 今していることをすぐ止めて、他のことをしなければならないことを子どもに知らせるための「声明」のようなもの

<効果的な指示の出し方2> ①選択させる、②「～したら、…できる」という取り決め、③子ども同士の力を利用して協力を促す、④ブロークンレコード・テクニック(子どもがへりくつを言って注意をそらそうとする時に、シンプルにただ指示を繰り返す方法)



第27回観武ヶ原まつり 2018

平成30年9月15日(土) / 岩手県青少年会館隣接地

9月15日(土)、「第27回観武ヶ原まつり2018」が盛岡市みたけの岩手県青少年会館隣接地で開催されました。

今年も県民会議は手作りコーナーを企画し、10月開催の親子フェスティバルの試作「マイアクアリウム～世界にひとつだけの水族館～」をボランティアの協力により出店しました。

好評につき大勢の親子連れが列をなし、午後にはすぐに完売となり大盛況のうちに終了しました。ボランティアは地域子ども達と様々なイベントで交流し満足した様子でした。



青少年なやみ相談室

どうしていいかわからない。
困っているとき、苦しいとき、不安なとき。
思い切って電話してみませんか？
相談は無料です。秘密は固く守ります。



電話：019-606-1722

相談時間	日	月	火	水	木	金	土
9:00～16:00	○	○	○	○	○	○	○
16:00～20:00		○			○		

※年末年始及びアイーナ休館日を除く毎日対応しています。

メール：nayami@aiina.jp (24時間受付中)

面接：事前の予約が必要です

詳細はホームページ

(<http://www.aiina.jp/seishounen/nayami/>) をご覧ください。

正会員・賛助会員募集

県民会議では新規会員及び協賛企業を募集しています。
次世代を担う青少年の健全な育成を共に目指しませんか。

1. 会 員： 会員には、県内各地で開催するイベントやシンポジウム等にご案内するほか、青少年に関する各種資料等をお送りします。
2. 協賛企業： 県民会議 HP バナー広告、広報紙「青少年いわて」への広告、県民会議封筒への広告を有償で掲載させていただきます。



区 分	形 態	年 会 費
正会員	個 人	3千円
	団体(法人)	6千円
賛助会員	個 人	一口12千円以上
	団体(法人)	一口25千円以上

情報メディア「出前」講座

PTA関係者や保護者等からの要望に応じ、講師を派遣して、インターネットやスマートフォンを巡る青少年の現状への理解を深め、情報機器の正しく安全な利用が進むよう講座を開催します。

講演時間：30分から90分程度(質疑応答時間別)

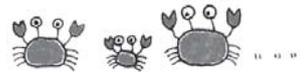
テ ー マ：要望に応じて内容を調整します



例) 青少年が関わるネット・スマホトラブルと対策
ネットでのマナーやコミュニケーションの注意点

※派遣を希望する団体は、講座開催希望日の1ヶ月前までにお申込みください。

情報発信中



岩手県青少年育成県民会議

HP：http://www.ipayd.server-shared.com/

Facebook：@iwateyouth

青少年活動交流センター

HP：http://www.aiina.jp/seishounen/index.html

Facebook：@yacaiina

Twitter：@ya_center

いいね! フォローする

で最新情報をゲット!!



毎月第3日曜日

いわて
家庭の日

いい日
どんな日
家庭の日
家族そろって食事

青少年が健やかに成長するには、家庭の力が欠かせません。子どもと向きあう、家族みんなで過ごす、家族そろって食事をする。

「いわて家庭の日」は家庭を大切に、実践する日です。

家族そろって食事をしましょう

家の仕事をみんなでしましょう

語り合い、教え合い、支え合いを大切にしましょう

早寝早起き朝ごはん

